



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年1月31日

上場会社名 株式会社ココカラファイン

コード番号 3098

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 厚志

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 千田 吉裕

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

URL <http://www.cocokarafine.co.jp>

TEL 045-548-5957

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	243,878	34.9	7,516	89.9	11,185	62.6	6,635	41.6
23年3月期第3四半期	180,754	23.5	3,958	24.4	6,879	15.6	4,685	32.8

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 6,630百万円 (41.5%) 23年3月期第3四半期 4,686百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	261.03	—
23年3月期第3四半期	215.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	142,946	65,964	46.1
23年3月期	121,361	60,605	49.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 65,964百万円 23年3月期 60,605百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	33.00	—	25.00	58.00
24年3月期	—	25.00	—		
24年3月期（予想）				25.00	50.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 23年3月期の第2四半期末配当金の内訳 普通配当 25円00銭 記念配当 8円00銭

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	319,100	24.3	8,000	25.5	12,700	22.2	7,200	21.8	283.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期の連結業績予想に関する事項については、平成24年1月31日公表の「平成24年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 ー社 (社名 )、 除外 ー社 (社名 )

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は添付資料3ページ「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	25,472,485株	23年3月期	25,472,485株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	53,140株	23年3月期	52,976株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	25,419,416株	23年3月期3Q	21,719,260株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による経済活動の停滞から回復に向かい、個人消費においても緩やかな回復傾向が続いております。しかしながら、不安定な海外要因による円高や、国内における厳しい雇用情勢等を受け、今後の景気動向は依然として不透明な状況となっております。

当社が属するドラッグストア業界は、法的規制緩和や医療費抑制政策等により大きな転換期を迎えており、異業種を交えた業務・資本提携、M&A等の企業の生き残りをかけた統合・再編の動きが活発化しております。

このような状況下、当社は「人々のココロとカラダの健康を追求し、地域社会に貢献する」の経営理念のもと、中期経営計画「2016年3月期 売上高 5,000億円、経常利益 200億円」の達成に向けて、「おもてなしNo.1企業になる」をコーポレートスローガンとした諸施策の展開やグループ運営基盤の強化を行い、既存事業の質的強化を推進してまいりました。

出退店につきましては、新規に49店舗を出店、24店舗の退店を行い、また株式会社スズラン薬局を子会社としたことにより同社の23店舗を加えた結果、当第3四半期連結累計期間末の当社グループ店舗数は、以下のとおり1,132店舗となりました。

(単位：店)

		北海道・東北	関東・甲信越	東海	関西	中国	四国	九州・沖縄	全国計	(内調剤取扱)
株式会社セイジョー	期首	—	283	29	—	—	—	—	312	(61)
	出店	2	16	2	—	—	—	—	20	(5)
	退店	—	5	1	—	—	—	—	6	(5)
	期末	2	294	30	—	—	—	—	326	(61)
セガミメディクス株式会社	期首	—	67	10	134	57	21	90	379	(67)
	出店	—	2	1	6	3	1	5	18	(3)
	退店	—	2	—	6	4	—	2	14	(2)
	期末	—	67	11	134	56	22	93	383	(68)
株式会社ジップドラッグ	期首	—	—	169	48	—	—	—	217	(52)
	出店	—	—	6	5	—	—	—	11	(2)
	退店	—	—	1	—	—	—	—	1	(1)
	期末	—	—	174	53	—	—	—	227	(53)
株式会社ライフオート	期首	—	6	—	154	16	—	—	176	(29)
	出店	—	—	—	6	—	—	—	6	(1)
	退店	—	6	—	3	—	—	—	9	(9)
	期末	—	—	—	157	16	—	—	173	(21)
株式会社スズラン薬局	期首	23	—	—	—	—	—	—	23	(15)
	出店	—	—	—	—	—	—	—	—	(—)
	退店	—	—	—	—	—	—	—	—	(—)
	期末	23	—	—	—	—	—	—	23	(15)
当社グループ計	期首	23	356	208	336	73	21	90	1,107	(224)
	出店	2	18	9	17	3	1	5	55	(11)
	退店	—	13	2	9	4	—	2	30	(17)
	期末	25	361	215	344	72	22	93	1,132	(218)

- (注) 1. (内調剤取扱)の出店、退店の数には、既存店の調剤取扱の開始及び中止の数を含んでおります。  
 2. 株式会社スズラン薬局の期首店舗数は、平成23年10月1日現在の店舗数を記載しております。  
 3. 関東・甲信越地区の出店、退店の数には、平成23年10月1日付で株式会社ライフオートより株式会社セイジョーへ店舗譲渡した6店舗(内調剤取扱3店舗)を含んでおります。

以上の結果、前連結会計年度における関東地方を中心とした震災関連の買い置き需要などによる反動が期初を中心に若干残りましたものの、平成22年10月1日付株式会社アライドハーツ・ホールディングスとの合併による増収効果や、引き続き好調な調剤事業及びグループによる商品施策の浸透等の効果と継続して行っております経費削減の取組等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は、243,878百万円(前年同期比34.9%増)、営業利益7,516百万円(同89.9%増)、経常利益11,185百万円(同62.6%増)、四半期純利益6,635百万円(同41.6%増)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## 資産、負債及び純資産に関する状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、142,946百万円となり、前連結会計年度末に比べて21,584百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金12,514百万円の増加、売掛金1,906百万円の増加、たな卸資産3,111百万円の増加、有形固定資産1,158百万円の増加等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、76,981百万円となり、前連結会計年度末に比べて16,225百万円増加いたしました。主な要因は、短期借入金1,800百万円の減少、未払法人税等723百万円の減少、負ののれん875百万円の減少があったものの、支払手形及び買掛金19,244百万円の増加等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、65,964百万円となり、前連結会計年度末に比べて5,358百万円増加いたしました。主な要因は、配当金1,270百万円の支払いによる減少、当第3四半期連結累計期間における第3四半期純利益6,635百万円による増加等によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期の連結業績予想につきましては、第4四半期において、店内照明LED化をはじめとする来期以降の既存店活性化施策費用を計画しているものの、グループシナジーを最大限に活用した様々なコスト適正化施策の実施や、消費税計算方法の検討・見直しを行った結果、営業利益は前回予想を300百万円、経常利益は900百万円、当期純利益は900百万円それぞれ上回る見通しとなったため、業績予想を修正いたします。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり当 期純利益
前回発表予想 (A)	319,100	7,700	11,800	6,300	247円84銭
今回修正予想 (B)	319,100	8,000	12,700	7,200	283円25銭
増減額 (B-A)	—	300	900	900	—
増減率 (%)	—	3.9	7.6	14.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	256,681	6,375	10,395	5,911	260円79銭

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、見積実効税率を使用できない場合には、税引前四半期純利益に法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,684	24,199
売掛金	12,416	14,322
有価証券	800	700
たな卸資産	33,716	36,827
その他	8,207	10,416
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	66,819	86,463
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,609	12,382
土地	10,995	11,094
その他(純額)	3,444	3,730
有形固定資産合計	26,048	27,207
無形固定資産		
のれん	723	1,069
その他	1,372	1,288
無形固定資産合計	2,096	2,357
投資その他の資産		
敷金及び保証金	20,192	20,484
その他	6,469	6,675
貸倒引当金	△265	△243
投資その他の資産合計	26,396	26,917
固定資産合計	54,541	56,482
資産合計	121,361	142,946

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,387	55,632
短期借入金	6,000	4,200
1年内返済予定の長期借入金	240	92
未払法人税等	2,848	2,125
賞与引当金	1,588	831
ポイント引当金	1,139	1,298
その他	5,454	6,548
流動負債合計	53,658	70,728
固定負債		
退職給付引当金	2,438	2,573
負ののれん	2,334	1,458
その他	2,324	2,220
固定負債合計	7,097	6,252
負債合計	60,755	76,981
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	34,419	34,419
利益剰余金	25,217	30,581
自己株式	△91	△91
株主資本合計	60,545	65,909
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59	54
その他の包括利益累計額合計	59	54
純資産合計	60,605	65,964
負債純資産合計	121,361	142,946

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	180,754	243,878
売上原価	136,792	184,108
売上総利益	43,961	59,769
販売費及び一般管理費	40,003	52,252
営業利益	3,958	7,516
営業外収益		
発注処理手数料	609	831
負ののれん償却額	875	875
仕入割引	634	876
その他	970	1,287
営業外収益合計	3,090	3,869
営業外費用		
賃貸費用	60	135
その他	108	64
営業外費用合計	169	200
経常利益	6,879	11,185
特別利益		
還付消費税等	—	1,096
負ののれん発生益	1,123	—
その他	26	17
特別利益合計	1,150	1,113
特別損失		
固定資産除却損	64	56
賃貸借契約解約損	82	165
減損損失	346	45
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	647	—
関係会社株式売却損	—	122
その他	59	65
特別損失合計	1,199	455
税金等調整前四半期純利益	6,829	11,843
法人税等	2,144	4,703
過年度法人税等	—	504
法人税等合計	2,144	5,207
少数株主損益調整前四半期純利益	4,685	6,635
少数株主利益	—	—
四半期純利益	4,685	6,635



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,685	6,635
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△5
その他の包括利益合計	1	△5
四半期包括利益	4,686	6,630
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,686	6,630
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(開示の省略)

四半期連結キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報、その他の注記事項、個別情報、補足情報等は第3四半期決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため、開示を省略しております。